

# CT 装置

## CT とは

X 線を使って体の断面を撮影する検査です。CT 装置の中心にある大きな穴に、寝た状態が入って撮影を行います。レントゲン写真ではわからない体内の様々な病巣を発見することができます。

## 使用装置について

当院では 2 台の CT 装置が稼動しています。

Philips 製

IQon Spectral CT (93CT 室)



Philips 製

5000 Ingenuity (88CT 室)



## CT 検査について

検査時間は撮影室に入ってから約 10~20 分間くらいです。検査は装置の寝台に寝た状態で行います。検査内容によっては、息を 10~20 秒間程止めていただく場合があります。金属類は検査の妨げになる場合があるので、撮影部位にある金属類（眼鏡、ピン、ネックレス、時計、下着、ズボンのチャック等）は外していただき、また、検査衣に着替えていただく場合があります。

## CT 検査の種類

単純 CT 検査	造影剤を使用せずに撮影する検査です。
造影 CT 検査	造影剤という薬を静脈注射して撮影する検査です。

## 造影剤の使用について

造影剤とは体内の異常をより詳しく調べる目的で使用する薬です。CT 検査で造影剤を使う場合は、おもに腕の静脈から自動注入器（インジェクター）によって注入を行います。

副作用は少ない薬ですが、検査中に気分が悪くなった場合は必ずお知らせください。当院では、副作用に対して万全の体制を整えて検査を行っています。

## IQon Spectral CT について

2018年10月より IQon Spectral CT を新たに導入しました。

この CT は 2 層検出器が搭載されており、一回の撮影で従来の CT 画像とスペクトラル画像という新たな画像を取得することができるようになりました。

## IQon Spectral CT の利点

### ① 造影効果を変化

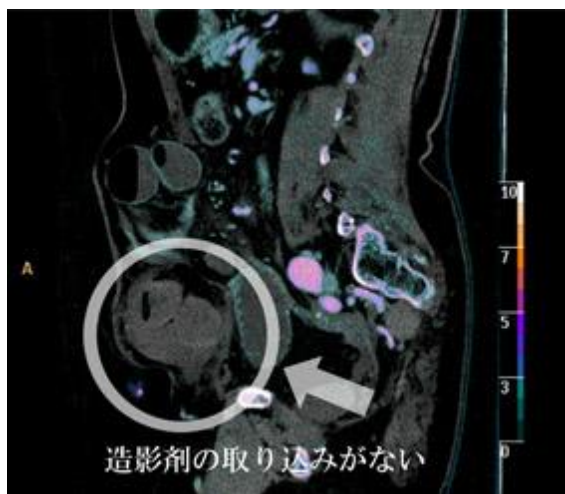
スペクトラル画像を用いて低いエネルギーによる画像を作成することで、造影効果の高い画像が得られます。腎機能が低下した場合など、以前までは造影剤を使用することがためらわれたケースでも、少量の造影剤で従来と同等の造影効果をもった画像を取得することが出来るようになりました。また、通常通りに造影剤を使用した場合には、さらに造影効果を高めることで微細な病変の発見にもつながります。

### ② 物質の同定

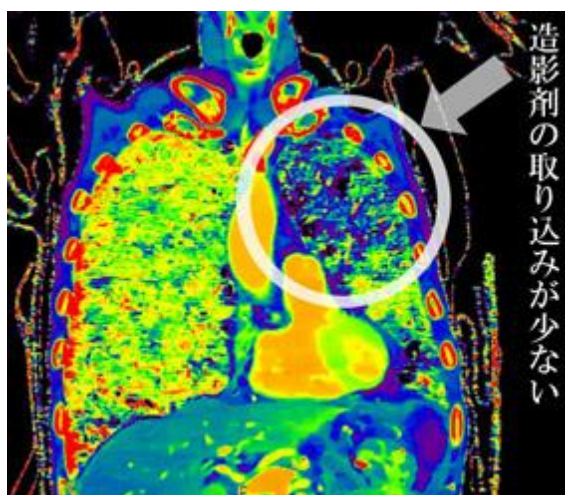
スペクトラル画像を利用して、造影剤のみの画像を表示することで造影剤の取り込みを容易に可視化することや、結石の種類を同定したりすることが可能となりました。

### ③ 従来画像とスペクトラル画像の同時取得

2 層検出器によって、従来と同じ撮影方法で二種類のエネルギー情報を取得することができます。撮影が一度で済むので、被ばくの増加もありません。



イレウス



肺塞栓症

## 検査の流れ

- ① 検査の内容により 88、93 いずれかの CT 室にご案内します。
- ② 金属類は画像に影響を及ぼしますので、撮影範囲にあるものは取り外していただく、検査着への着替えをお願いしています。
- ③ 造影剤を使用して検査を行う場合があります。事前に問診票の記入をお願いしておりますが、不安なことがある場合はお尋ねください。
- ④ 検査台に寝た状態で検査を行います。撮影部位によっては息止めの協力をお願いしています。